

大阪府立入試直前予想演習  
(一般入学者選抜)

国語  
〔C問題〕  
第1回

注意

1 「開始」の合図があるまで開いてはいけません。

2 答えは、**解答用紙**に書きなさい。  
ただし、**問題五**は**原稿用紙**に書きなさい。

・ 答えとして記号を選ぶ問題は、右の【解答例】にならい、すべて**解答用紙の記号**を○で囲みなさい。また、答えを訂正するときは、もとの○をきれいに消しなさい。

・ 答えの字数が指定されている問題は、**句読点**や「」などの符号も一字に数えなさい。

解答用紙の**採点者記入欄**には、何も書いてはいけません。

3 問題は、中の用紙のA面に一・二、B面に三～五があります。

4 「開始」の合図で、まず、**解答用紙**と**原稿用紙**に受験番号を書きなさい。

5 「終了」の合図で、すぐ鉛筆を置きなさい。

【解答例】

ア

イ

ウ

エ

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(山本健吉『ことばの歳時記』による)

(注) 「野ざらし」 Ⅱ 「野ざらしを心に風のしむ身かな」という松尾芭蕉の句。  
「亡妻」 Ⅱ 「身にしむや亡妻の櫛を闇に踏む」という与謝蕪村の句。

1 ① これが季感を持つに至ったのは、歌人たちが詠んできた伝統によってである。とあるが、「身にしむ」という言葉が秋の季感を持つようになった背景について、本文中で筆者が述べている内容を次のようにまとめた。

a に入れるのに最も適しているひとつづきのことばを、本文中から八字で抜き出し、初めの五字を書きなさい。また、b に入る内容を、本文中のことばを使って四十五字以上、五十五字以内で書きなさい。

「身にしむ」という言葉自体は、a という意味であるが、平安末期の情緒的生活を背景として、b ため、秋の季感を持った。

## A 面

2 次のうち、本文中の②に入れるのに最も適していることばはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 季語が本来と逆の意味で使われた一例  
 イ 季語もまた感傷性が際立った例  
 ウ 季語がそのニュアンスを変えてきた一例  
 エ 季語の意味が悪い意味で変わった例

3 「身にしむ」という季語の意味について、本文中で筆者が述べている内容を次のようにまとめた。a、bに入れるのに最も適していることばを、それぞれ本文中から抜き出しなさい。ただし、aは十一字、bは二十五字で抜き出し、それぞれ初めの五字を書きなさい。

「身にしむ」という語は、和歌においてはウエットの極致をあらわすものであった。和歌に比べてドライな芸術である俳諧ではより受け取られるようになってきたが、bはできない。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

いづかたに火ありと聞きても、ありあふ調度なんど繩にゆひつけて、井のうちへ入れつ。水にいれがたきものは袋やうのものへうち入れて、かたはらさらず置きぬ。「火のかく遠きをいかでさはし給ふ」と言へば、「焼けゆかば遠きも近くなりぬべし」と言ふ。「風よければこなたへは来たらし」と言へば「風かはりなばさはあらじ」と言ふ。人みな笑ひぬ。

ある日いと遠かたのなりしが、風とみに吹き出でて、またたくうちに焼け広がり、かの男のあたりも焼け失せぬ。火しづまりて、近きあたりのものら、「もの食はんとしても器ものなし」と嘆けば、かの男のしたり顔にて「貸してまゐらせん」とて、かの繩を引きたぐれば、はさみよ、くしよなどいふもの引きあげつ。また袋のうちより、器ものなど出しつつ、「常々人に笑はれずば、いかでかかる時ほまれしつべき」と言ひしを「げにも」と言ひし人もありしとぞ。

(注) ありあふ調度 || 手元にある道具の。  
 とみに || 急に。  
 したり顔 || 得意顔。

1 人みな笑ひぬとあるが、人々が笑った理由について、本文中で述べられている内容を次のようにまとめた。aに入れるのに最も適していることばを、本文中から読み取って、現代のことばで二字書きなさい。また、bに入る内容を本文中から読み取って、現代のことばで二十字以上、三十字以内で書きなさい。

遠くで a が起きているにもかかわらず、b、水に入れないものは袋に入れて近くに置いていたから。

2 と嘆けばとあるが、次のうち、近所にいた人が嘆いた理由として、本文中で述べられているものはどれか。最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 器ひとつ残さないほどの大規模な火事におびえてしまったから。  
 イ 家族の形見である大切な器がなくなってしまったから。  
 ウ 食事をしようとしても、そのための器がないから。  
 エ 器が不要になってしまうほど、食べ物がなくなってしまったから。

3 いかでかかる時ほまれしつべきとあるが、次のうち、男がこのように述べた理由について、本文中で述べられていることと内容の合うものはどれか。最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 火事により身の回りの調度品すべてを失ってしまったが、日頃から人々に親切にしていたため、器をもらうことができたから。  
 イ 日頃、人々に馬鹿にされながらも火事に備えていたため、いざ周囲の人々の調度品が燃えてしまったときに、自分のものを貸し与えることができたから。  
 ウ 風の向きを読むことで、火事の被害の大きさを事前に知ることができ、余計な準備をせずに済んだから。  
 エ 水の中に入れて困るようなものは袋に入れてから井戸に入れるなど、小さなところで機転をきかせることができたから。

## 三 次の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(3)の文中の傍線を付けた漢字の読み方を書きなさい。また、(4)～(6)の文中の傍線を付けたカタカナを漢字になおし、解答欄の枠内に書きなさい。ただし、漢字は楷書で、大きくていねいに書くこと。

- (1) スポーツの大会を催す。 (2) 万物は流転する。  
 (3) 真紅のバラを育てる。 (4) 駅でタンニンの先生と会う。  
 (5) 市長がシユクジを述べる。 (6) 日本国ケンボウについて学ぶ。

2 次のうち、返り点にしたがって読むと「此を以て世を没するも忘れられざるなり。」の読み方になる漢文はどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 此<sub>レ</sub>以<sub>テ</sub>没<sub>スル</sub>モ世<sub>ヲ</sub>不<sub>ル</sub>忘<sub>レラレ</sub>也。  
 イ 此<sub>レ</sub>以<sub>テ</sub>没<sub>スル</sub>モ世<sub>ヲ</sub>不<sub>ル</sub>忘<sub>レラレ</sub>也。  
 ウ 此<sub>レ</sub>以<sub>テ</sub>没<sub>スル</sub>モ世<sub>ヲ</sub>不<sub>ル</sub>忘<sub>レラレ</sub>也。  
 エ 此<sub>レ</sub>以<sub>テ</sub>没<sub>スル</sub>モ世<sub>ヲ</sub>不<sub>ル</sub>忘<sub>レラレ</sub>也。

## 四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

B 面

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(波平恵美子『いのちの文化人類学』による)

(注) レシピアント＝臓器提供者から臓器提供を受ける人。

ドナー＝臓器提供者。

ヒューマニティ＝人間らしさ。

1 拒否された<sup>①</sup>とあるが、遺族が病理解剖を拒否する理由を次のようにまとめた。□に入れるのに最も適しているひとつづきのことばを、本文中から二十字で抜き出し、初めの五字を書きなさい。

死者の遺族や近親者は、死者の身体と□を切り離せず、死んだばかりの身体を切られるということは、生きている身体を切られることと変わらないから。

2 次のうち、傍線部が<sup>②</sup>と同じ用法で使われているものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 雨でやる気が出ない。
- イ 切ない物語を読む。
- ウ 欠点が一つもない。
- エ 捨てるのはもったいない。

3 臓器を提供する側の人は、必ずしもそれを受け入れていないとあるが、本文中で筆者は、医療・医学の次元におけるドナーの扱いに対して、臓器提供を申し出る遺族は、どのように考えていると説明しているか。その内容についてまとめた次の文の□に入る内容を、移植する臓器に対する考え方を明らかにして、本文中のことばを使って八十字以上、九十五字以内で書きなさい。

遺族にとって、□という考え。

4 次のうち、本文中で述べられていることがらと内容の合うものはどれか。最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 医療に携わる人々による「いのちの贈物」は贈られるものが「いのち」であるからこそ、レシピアントにまつわる情報は公開するべきであるという考え方は、ドナーの家族を著しく傷つける可能性がある。

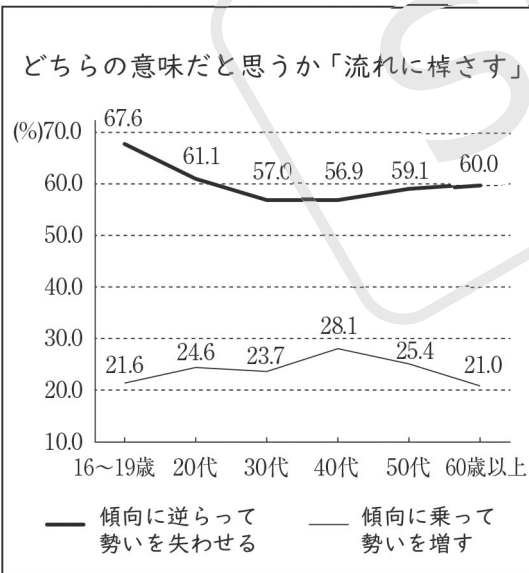
イ 医療に携わる人々が臓器移植を「ヒューマニティの発露」や「無償の善意からの行為」ととらえることで、近い将来死が予想されている人の生命を救うことになる「いのちの贈物」への理解が深まる。

ウ 医療に携わる人々はドナーの家族の臓器提供の動機を「無償の善意からの行為」とはみなさず、重症の患者の生命を救うための行為であると考える、「いのちの贈物」に向き合うことが求められている。

エ 医療に携わる人々はドナーの家族の臓器提供の動機をよく理解したうえで、「いのちの贈物」は贈り主自身が死者であるがゆえ、順調に進むことが少ないということを理解しなければならぬ。

5 次の【資料】は、「流れに棹さす」ということばについて、「どちらの意味だと思うか」という質問に対する回答結果を示したものです。【資料】からわかることにもふれながら、あなたが周りの人と関係を築いていく時に心がけたいと考えることについて、別の原稿用紙に三百字以内で書きなさい。

【資料】



(「国語に関する世論調査」(文化庁)により作成)